

宇部市立小中学校適正規模・適正配置計画

～将来あるべき学校の姿とその実現に向けた取り組みについて～



宇部市教育委員会
教育総務課

はじめる前に・・・

◆小中一貫教育

◆施設一体型小中一貫教育

◆義務教育学校

とは

◆小中一貫教育とは

- ・ 連続する小中学校で「めざす子ども像」（教育目標）を共有して、9年間を通じた系統性・連続性のある教育活動を行うもの。
- ・ 令和2年度(2020年度)からすべての中学校区で導入。

【メリット】

- 中一ギャップの緩和や解消
- 確かな学力の定着
- 異学年交流などによる精神的な発達

【具体的な取組】

- 「めざす子ども像」を共有し、同じベクトルで児童生徒を育てる
- 9年間を見通したカリキュラムを実施
- 小学校5・6年生で教科担任制
- 小学生と中学生の交流授業
- 小中教員による相互の乗り入れ授業など

【参考】

【西岐波中学校区 小中一貫教育グランドデザイン】

R6 KIWANET

「めざす子ども像」 宇部市基本理念 「自立」と「共存同栄」 宇部を愛し、未来を拓くひとづくり

KIWANET 思いやりの心を持ち ふるさとを愛し ふるさとに愛される子ども



きわりん

ふるさとを愛し、

学び育ち合う 生徒の育成 (西岐波中)

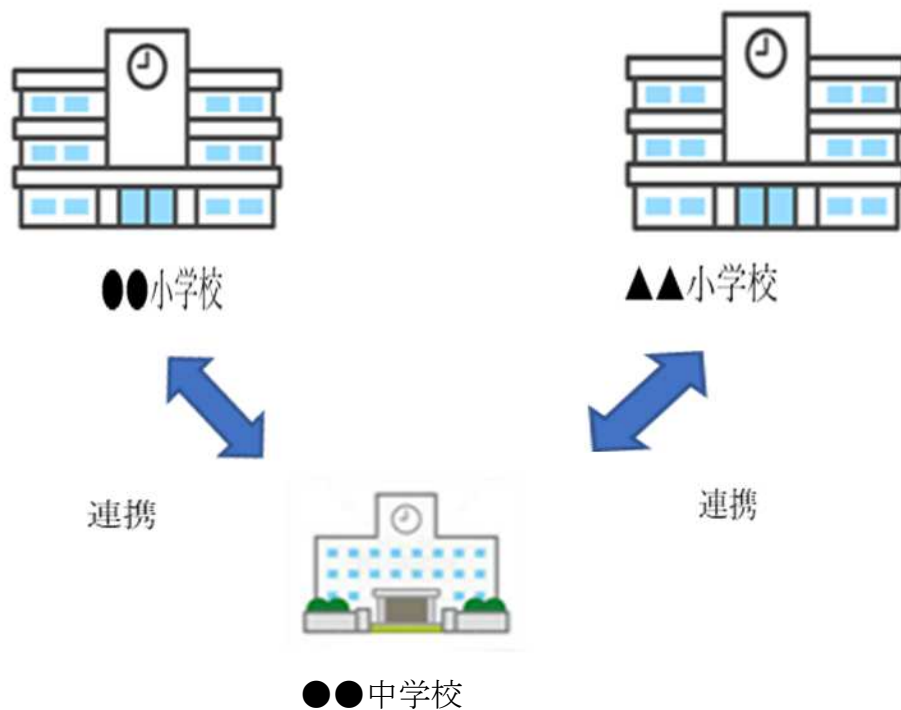
学び育ち合う「にしきわっ子」の育成 (西岐波小)

ふるさとから愛される「ときわっ子」の育成 (常盤小)

部会	プロジェクト	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	将来の姿 (10年後)
絆	地域連携	学校	・地域行事に参加する ・元気に挨拶や声かけをする			・地域行事を手伝う ・進んで気持ちのよい挨拶や会話をする			・地域行事の企画を提案する ・時と場に応じた挨拶や行動をする		・ふるさとを愛し、 地域の作り手として 地域活動に参加する ・人と繋がり、良い コミュニケーション をとる
		家庭 地域	・地域行事に家族で参加する ・家庭で挨拶の習慣を身につけさせる			・子どもと一緒に地域行事を手伝う ・家庭や地域で大人の挨拶の真本を示す			・地域行事に参加させる ・家庭や地域で挨拶や声かけをする		
学び 学力向上	学力向上	学校	・学習習慣を身に付け、楽しく学ぶ ・家庭学習の習慣を身につける			・課題をもち、自ら学ぶ ・自主的に家庭学習の内容を工夫する			・進路実現に向け、何が必要かを考えて学ぶ ・自ら計画を立て、家庭学習に取り組む		・時代の变化に合わせ、 主体的に学び続ける
		家庭 地域	・家庭での学習環境を整備する			・学習の進捗状況を見守る			・進路や将来について語り合う		
心と体 学校安全	安心安全 全通	学校	・メディア活用ルールを知る ・好き嫌いをせずに食べる			・ルールを守ってメディア活用する ・栄養バランスについて学んだことを生かす			・自分でルールを設定し、メディアコントロールをする ・栄養バランスのとれた簡単な食事を作る		・情報モラルをもち、 ICTを有効活用できる ・バランスのとれた 食生活を営む
		家庭 地域	・メディア活用ルールを設定する ・家庭で一緒に食事をする			・家庭でメディア活用ルールを話し合い 設定する ・家庭で食事のバランスを見直す			・家庭で設定したメディア活用ルールが 守れているか見守る ・家庭で一緒に食事を作る		
環境 環境美化	環境美化	学校	・掃除の仕方の基本を身につける ・身の回りの環境をきれいに保つ			・自ら黙々と掃除に取り組む ・学校の環境美化に取り組む			・見つけ掃除に取り組む ・地域の環境美化に取り組む		・ふるさとを愛する 心をもつ ・地域の美しい環境 を守る
		家庭 地域	・家庭で整理整頓や手伝いの習慣を 身につける			・家庭地域ぐるみで清掃活動に取り組む			・地域環境の課題解決に向けて生徒を積極 的に参加させる		

◆施設の形態

従来の小中一貫教育
(施設隣接型・分離型)



施設一体型小中一貫校



同一敷地内に、小学校と中学校を設置する施設整備の形態

◆学校の形態

	小中一貫型小学校・中学校	義務教育学校
校長	小学校・中学校に1人ずつ	1人
教職員組織	小学校・中学校に1つずつ	1つ
学年	小学校6年 中学校3年	1年生から9年生

計画の説明

宇部市立小中学校適正規模・適正配置計画

◆計画期間

令和6年度(2024年度)から令和15年度(2033年度)
までの10年間

計画策定5年後には必要に応じて見直す。

◆学校のあるべき姿

児童生徒が、多様な考え方に触れ、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていける**集団規模**と、安心・安全な教育環境のもとで、地域と連携を図りながら、**義務教育 9 年間**を見通したつながりのある教育を提供することにより、児童生徒の確かな学び（健やかな成長）を保障できる学校

【理想形】

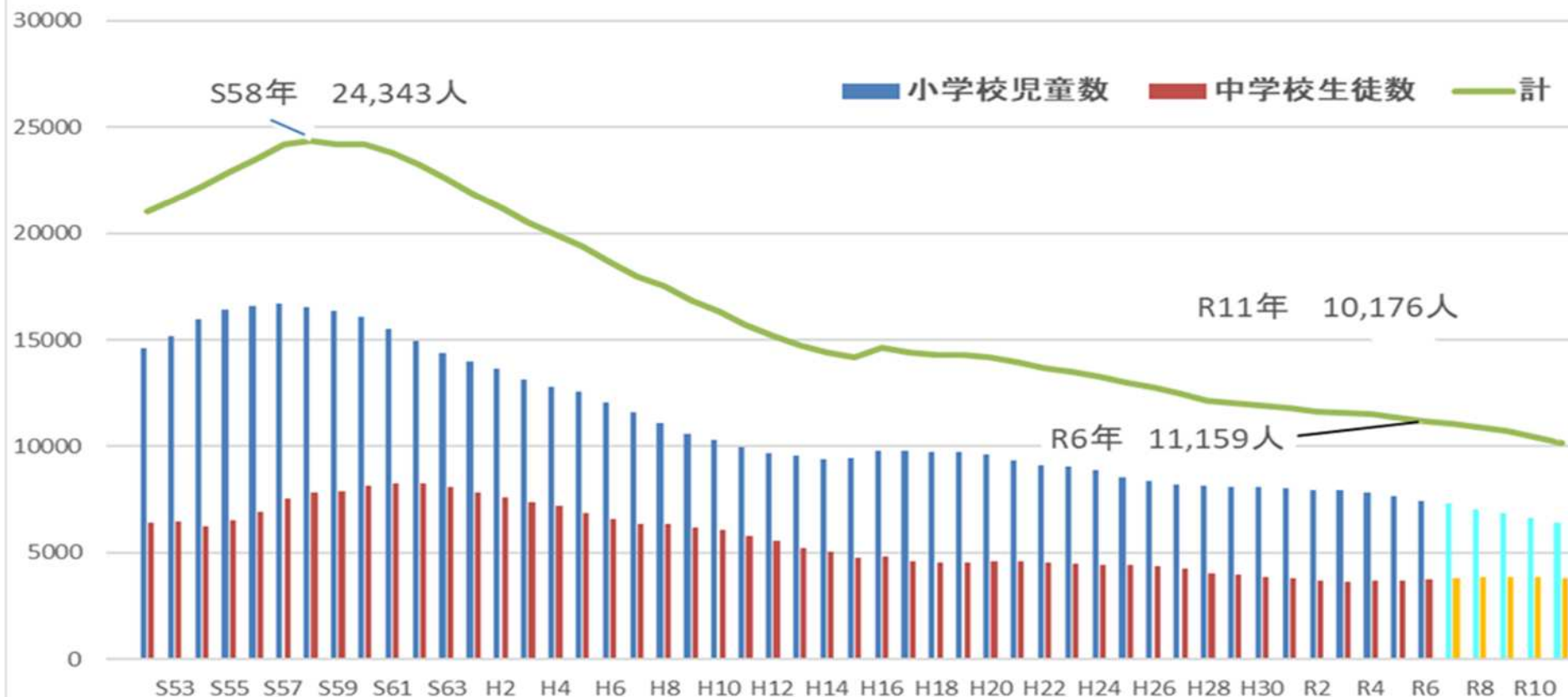
児童生徒の社会性を育むことができる**集団規模**を有し、校区の中心に位置する**同一敷地内に小中学校がある義務教育学校**

宇部市の現状と課題

1 宇部市の児童生徒数

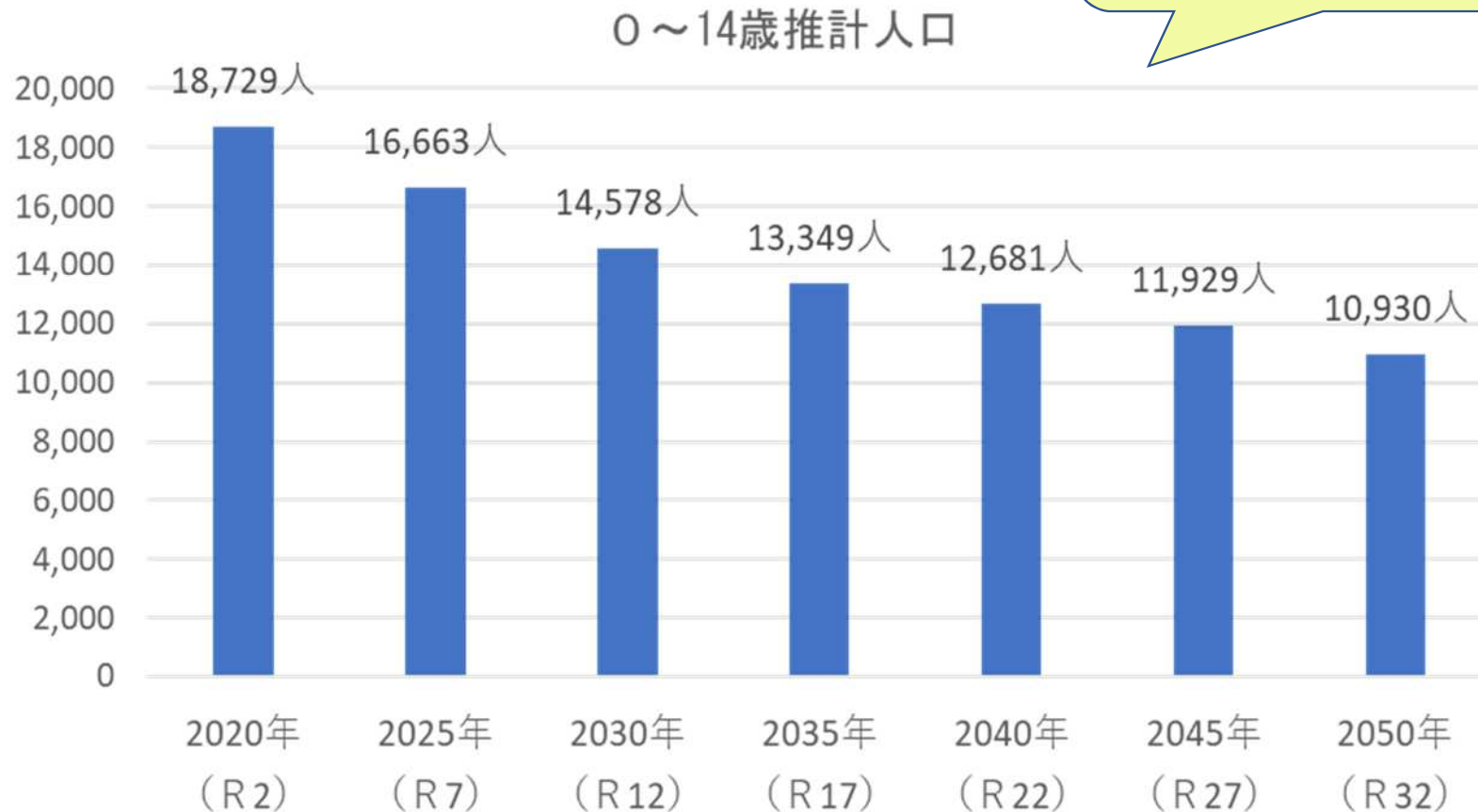
学校規模（令和6年5月1日現在）
 24小学校 4校が複式学級
 5校が単学級
 全市的な小規模化の進行

児童生徒数の推移と予測



本市の将来推計人口

30年間で7,799人
42%減少



出典：「日本の地域別将来推計人口（令和5年(2023)年12月公表）」（国立社会保障・人口問題研究所）

2 小中一貫教育

■小中一貫教育とは

連続する小中学校で「めざす子ども像」を共有して、9年間を通じた系統性

・連続性のある教育活動を行うもの

⇒「中一ギャップの緩和や解消」「確かな学力の定着」などの実現を目指す



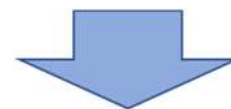
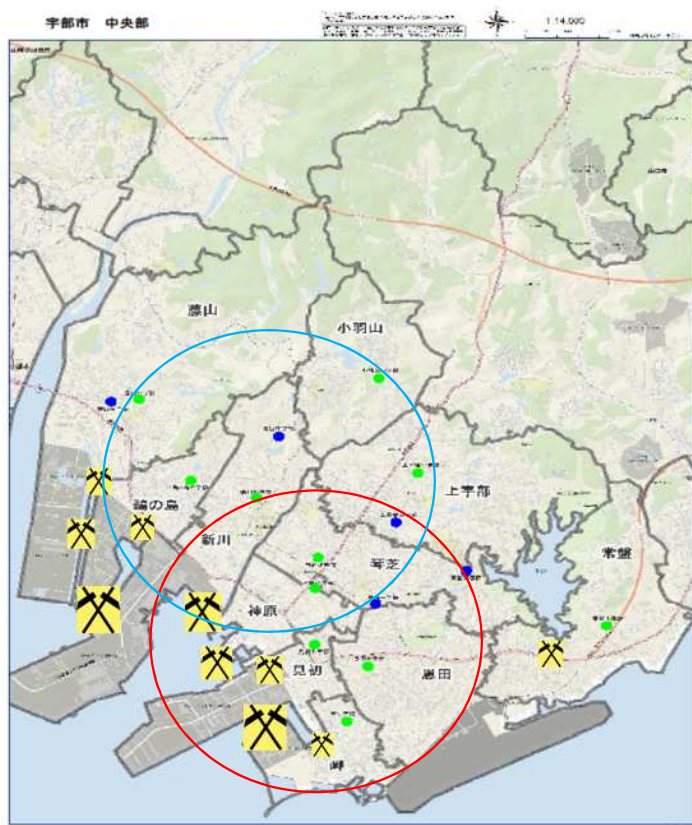
令和2年度からすべての中学校区で導入



進学先が分かれる小学校では、どちらか一方の中学校と連携することとなるため、連携先でない中学校に進学する児童については、系統性・連続性のある教育活動が難しい

3 学校選択制

通学区域の弾力化を図るため、学区の一部の自治会に居住する児童生徒が、住所地の属する学区の学校（就学校）に加えて、隣接学区の学校を選択できる制度



平成20年度から通学区域に偏りが生じている学校で導入



利用者の増加により本来の就学校で大幅に入学者が減少している学校がある

4 学校施設

施設（校舎）の建設年度一覧

令和6年4月1日現在

小学校名				経過年数	中学校		
				70年以上	藤山	常盤	
	藤山	神原	鷺ノ島	69年～ 築60年	桃山	厚南	
恩田	新川	原	万倉	59年～ 築50年	西岐波	東岐波	
厚南	上宇部	常盤	東岐波	49年～ 築40年	楠		
厚東	小羽山	西宇部	見初				
			吉部				
川上	船木	琴芝	黒石	39年～ 築30年	川上	黒石	神原
		小野	二俣瀬	29年～ 築20年	上宇部		
			西岐波	19年～ 築10年	厚東川		
			岬	築10年未満			

◆課題解決に向けた取組の方向性

①小中一貫教育の推進

進学先が分かれる小学校の解消を図る

②望ましい学校規模の確保

一定の集団規模を確保するための基準(適正規模・適正配置基準)を定めて、通学区域の変更や適正配置の検討を進める

③学校施設の整備

学校施設の更新時期を踏まえた、学校の統廃合の検討を進める

◆望ましい学校規模と学校配置の基準

《適正化のための地域区分》

市街地地域：北部地域以外

北部地域：厚東、二俣瀬、小野、船木、万倉、吉部

■望ましい学校規模の基準

	市街地地域	北部地域
小学校	12学級以上（1学年2学級以上）	6学級以上（1学年1学級以上）
中学校	6学級以上（1学年2学級以上）	3学級以上（1学年1学級以上）

■望ましい学校配置の基準

	通学距離	通学時間
小学校	おおむね 4 Km以内	おおむね 1 時間以内
中学校	おおむね 6 Km以内	おおむね 1 時間以内

◆配置の適正化に向けた具体的な取組

①小中一貫教育の推進

一つの小学校からは一つの中学校の進学となるよう、中学校の通学区域を優先的に見直し、必要に応じ小学校の通学区域の見直しを行う。

【進学先が分かれる小学校の中学校区域の再編】

	現在の進学先	再編後	対象地区
常盤小	西岐波中・常盤中	西岐波中	常盤全区
琴芝小	上宇部中・常盤中	神原中	琴芝全区 (琴芝1区から1-10区を除く)
		常盤中	琴芝1区から1-10区
鵜ノ島小	桃山中・藤山中	藤山中	鵜の島全区

⇒ 恩田小へ区域変更

■西岐波・常盤中通学区の学級数と生徒数

【令和6年度】

西岐波中

	令和6年度			
	1年	2年	3年	計
生徒数	134	167	147	448
学級数	4	5	4	13

常盤中

	令和6年度			
	1年	2年	3年	計
生徒数	184	147	180	511
学級数	6	4	5	15

【令和11年度推計】

西岐波中

	令和11年度推計			
	1年	2年	3年	計
生徒数	160	193	170	523
学級数	5	6	5	16

常盤中

	令和11年度推計			
	1年	2年	3年	計
生徒数	158	159	157	474
学級数	5	5	5	15

【令和6年度の西岐波中・常盤中における常盤小からの進学者数】

西岐波中	全校生徒数	うち常盤地区生徒数 (常盤24～39区)	常盤中	全校生徒数	うち常盤地区生徒数 (常盤1-1～2-8区)
	448	125		511	70

【新たな西岐波・常盤中学校区域の概略図】



②望ましい学校規模の確保

検討対象校

《市街地地域の検討対象校》

岬小学校、見初小学校、神原小学校、鵜ノ島小学校

《北部地域の検討対象校》

厚東小学校、二俣瀬小学校、小野小学校、
万倉小学校、吉部小学校

複数の学校が集中し、老朽化が進んでいる学校がある市街地地域の検討対象校から優先的に取り組む。

③学校施設の整備

施設一体型小中一貫校または義務教育学校の設置を目指す

【市街地地域の適正化の方向性】

■ 検討対象校：見初小学校、神原小学校

3小1中（見初小、神原小、琴芝小、神原中）の施設一体型
小中一貫校の設置に合わせ統合を進める

■ 検討対象校：鵜ノ島小学校

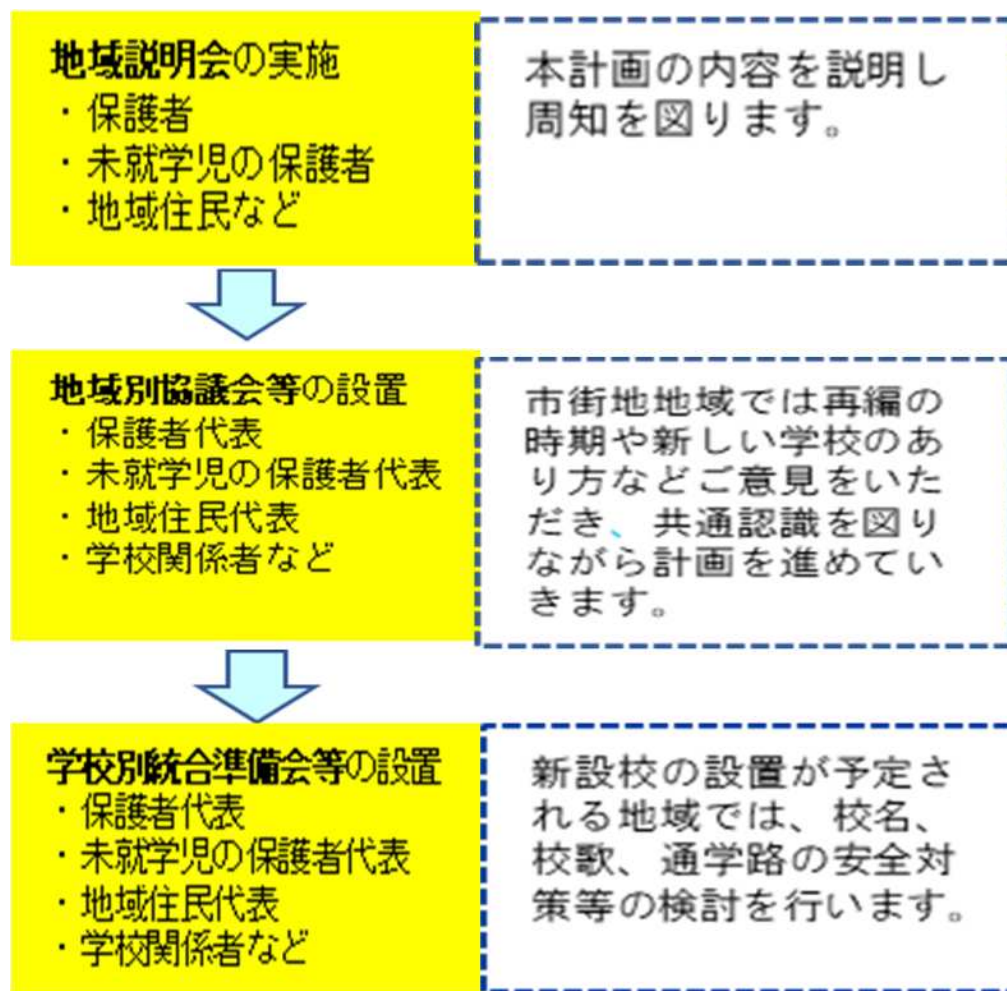
2小1中（藤山小、鵜ノ島小、藤山中）の施設一体型小中
一貫校の設置に合わせ統合を進める

■ 検討対象校：岬小学校

本計画期間中は、適正化は行わず小規模校のメリットを活か
した教育の充実を図る

◆計画の進め方と配慮事項

(1) 計画の進め方



(2) 配慮事項

①児童生徒の不安解消

- ・ 事前の交流機会の充実と再編後のきめ細やかなケア
- ・ 緩やかな移行に向けた仕組みの検討

②児童生徒の通学支援

- ・ スクールバスや公共交通機関の活用
- ・ 学校と保護者や地域の連携

③小規模校の課題への配慮

- ・ 中山間地域では、特認校制度の活用や移住定住策の推進に地域や市長部局と連携し取り組む。

再編スケジュール

[illegible]

次の時代を担う子供たちに
より良い教育環境を整えるた
めに、皆様のご理解とご協力
をお願いします。

ご清聴ありがとうございました。